

静岡文化芸術大学図書館・情報センターだより

# 新 知 人 故 温

Shizuoka University of Art and Culture Library News

2006.12 Vol.8

平成18年12月発行

発行所 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター  
〒430-8533 浜松市中央二丁目1番1号  
TEL(053)457-6124 FAX(053)457-6125  
http://www.suac.ac.jp/library

## Contents

表紙  
らでん したんのごげんびわ  
**螺鈿紫檀五絃琵琶** ①

巻頭言  
**文字から色を読む** ②  
静岡文化芸術大学 デザイン学部  
メディア造形学科長  
宮内 博実

図書館散歩  
**独書 - ひとりで  
汲む知と命の泉** ③  
静岡文化芸術大学 文化政策学部  
芸術文化学科 教授  
鈴木 滉二郎

シリーズ  
図書館・情報センターを使いこなそう!  
新型OPACから  
**「NACSIS目録横断検索」編** ④

知っていますか?こんなサービス ⑥



らでん したんのごげんびわ  
**『螺鈿紫檀五絃琵琶』**正倉院北倉納物 全長108.1cm 幅30.9cm 胴厚9.0cm  
「新編名宝日本の美術5;正倉院」小学館 1990 [708/Sh69]

正倉院宝物は、天平勝宝八歳(756年)光明皇后が東大寺大仏に献納せられた聖武天皇御遺愛の品々を中心に、その後における皇室からの献上品や、大仏開眼の法会をはじめ各種の儀式に用いられた数々の什宝によって構成されている。

それらの宝物は、奈良時代の工人が最高の技術を駆使して製作に当たったもので、当時のわが国の文化水準の高さを示すものである。同時にまた宝物の中には、中国大陸や朝鮮半島などの東アジアからはもとより、遠く西アジア地方からシルクロードを経て伝来したものもある。正倉院宝物が、わが国の宝物であるとともに世界の文化遺産といわれる所以である。

螺鈿紫檀五絃琵琶は、国家珍宝帳所載の品。四絃の琵琶がペルシア地方に起源を持つものに対して、この五絃の直頸琵琶はインドにそのルーツが求められるという。正倉院のこの琵琶は、インドから中国に伝えられた琵琶の流れを汲み、やがて唐代になって完成し、わが国に伝えられた世界に残る唯一の遺例といわれる。

学長木村尚三郎先生が生前情熱を注がれた『平城遷都1300年記念事業』に思いを至し、ここに貴い文化遺産に接し、その高い志の一端を受け継ぐことを決意したい。

(正倉院事務所編「正倉院買物1 北倉」毎日新聞社 1994 [702.13/Sh96] 引用・加筆)



静岡文化芸術大学 デザイン学部  
メディア造形学科長

宮内 博実

Hiromi Miyauchi

文中に登場した図書

ゲーテ著(高橋義人ほか訳)  
色彩論(完訳版)  
757.3/G56/1-3

岩崎昌子著  
イヌイトの壁かけ  
購入手続き中

日本色彩学会編  
新編色彩科学ハンドブック  
757.3/N71

宮内博実著  
毎日が楽しくなる  
色の取り扱い説明書  
757.3/Mi86

松尾芭蕉著  
奥の細道  
915.5/Ma85  
ほか俳文集など多数所蔵

他のタイトルでワイド版岩波文庫を所蔵。

## 文字から色を読む

若いころから、出かける时必须どこかの本屋さんへ立ち寄り、何となく面白い本がないか探すが習慣になっています。単に時間をつぶすだけでなく、タイトルを眺めながら色々なことを想像する楽しみは、最近のインターネット検索では難しいと感じています。しかも、誰がどんな本を立ち読みしているか行為をマンウォッチングすることも、身じかなマーケティングとして有効な情報収集と考えています。今は東京を離れてしまい、もっぱら出張時にまとめて買うことが多くなり、宅配してもらいます。かなり重い本も、持ちにくい本も買うことが出来て便利ですが、ついつい買いすぎてしまうのが難点です。

振り返ってみても子供のころから、それほど本が大好きな少年ではありませんでした。今も、それほど心底から好きになった訳ではなく、何となく仕事として、研究のために必要に迫られてしかたなく漁る程度です。しかし、書かれた文字から想像するイマジネーションは、大きな力となり、豊かな発想力につながると信じています。全ての情報をネットで検索して済ますのでは、それなりの発想しか出来ないように感じるのは、それなりに年をとってしまったからでしょうか。

研究室の書棚が一番厚いのがゲーテの「色彩論」です。随分前に入手したはずですが、勿論全部読んだ訳ではありません。しっかり読んだのは案外数ページかも知れません。学生時代に、岩波文庫から部分訳で出版されたのを読んだ記憶があり、その全訳版が出たのですぐに購入。教示篇、論争篇、歴史篇の全3篇からなり、多少図版はありますが、99%が文字で色のことがこと細かく書かれています。現在の色彩学研究の始まりであり、パイブルとも思われる内容が満載です。誰もが簡単に見えて、感覚的に理解しているはずの色を、美学や哲学、医学や生理学、そして科学的な裏付けまでの広がり<sup>1)</sup>を具体的に教えてくれたのがヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの色彩論です。

これ以外にもそれなりに必要最低限の本は、なるべく研究室に揃えるようにしています。色彩、デザイン、心理学、マーケティング、環境などをキーワードに、見やすく分かりやすく編集された本を選んで揃えています。専門である「色彩」に関しては、これまでに出版されたものから、特に内容や装丁で色の綺麗な物や、上質な印刷を選んでいきます。

最近見つけた本で、とても綺麗な色が満載の「イヌイトの壁かけ」岩崎昌子著は秀逸です。精度の高い色再現や添えられた文章、味わい深い配色が次々に登場します。何故か、見ているだけで不思議と心が温まるような気にさせてくれます。

もう一冊、かなり厚手の本で常に取りやすい場所に置かれているのが「色彩科学ハンドブック」です。色についての専門的な内容がぎっしり詰まった事典ですが、あまり専門的すぎて、興味のない人には全く不向きな本です。しかし、いろいろな人からの素朴な質問に答えるために、専門的な知識や数値の確認など、利用頻度はかなり高く、便利な事典として活用しています。どんなに上手く言葉で説明するよりも、なぜか文字で本に書かれている方が、説得力があるようです。とりわけ色の話ですから、文字だけでは分かりにくく、カラー写真や図版があればもっと理解しやすくなると言われてしまいます。

今年の4月に分かりやすい一般書として始めて出版した、「毎日が楽しくなる色の取り扱い説明書」は、こちらの希望でカラーページを出来るだけ多く入れてもらいましたが、それでも全体191ページ中、10%がカラーになった程度です。御陰さまで色の話を、分かりやすく手短かに文字だけで書くにはかなり苦勞でしたが、いい経験になりました。専門的な知識がなくても読めるように、出来るだけ身近な具体例を探すのに時間がかかってしまい、読者の気持ちですらすらと、色を文字で読み込んでもらうのは簡単ではないと再認識させられました。

最後に本のデザインに関する話ですが、手元に岩波文庫「芭蕉奥の細道」と同じタイトルで特装ワイド版岩波文庫の2冊があります。全く内容は同じですが、本自体のサイズが24%ほど大きくしています。多分高齢者向けに、読みやすく疲れないように文字を大きく印刷するには、実際に発行するにはいろいろ問題があったろうと思います。特に各ページの下段の細かな解説は、俄然ワイドの方がかなり見やすくなっています。何度も繰り返し読んでみたい古典など、ゆっくり時間をかけて味わうには、このくらいの「ユニバーサルデザイン」がもっと広がって欲しいと思います。



静岡文化芸術大学 文化政策学部  
芸術文化学科 教授  
**鈴木 滉二郎**  
Kojiro Suzuki

文中に登場した図書

木村尚三郎著 『耕す文化』の時代: セカンド・ルネサンスの道 361.5/Ki39
木村尚三郎著 ふりかえれば、未来 304/Ki39
三木清著 読書と人生 (「三木清全集」11に収録) 121.9/Mi24/1
桑原武夫著 文学入門 081/195/34
加藤周一著 読書術 081/D83/139
立花隆著 ぼくはこんな本を読んできた 019/Ta13
大江健三郎著 『伝える言葉』プラス 購入手続き中
E・W・サイード著(今沢紀子訳) オリエンタリズム 220/Sa17
高橋康也著 橋がかり・演劇的なものを求めて 770.4/Ta33
粕谷一希著 都会のアングル 914.6/Ka79
陣内秀信著 東京の空間人類学 291.36/J52
岩井克人著 ベニスの商人の資本論 081/C441/I 1-1
香原志勢著 顔の本 469.43/Ko27
藤枝静男著 藤枝静男著作集 918.68/F56
三田誠広著 僕って何? (「芥川賞全集」11に収録) 913.68/A39/11
小川国夫著 青銅時代 (「小川国夫作品集」5に収録) 918.68/O24/5

## 独書 - ひとりで汲む知と命の泉

このごろの世相をみると頻りに胸が痛む。なかでも、いじめによる子どもたちの自殺の報に接すると、耐えがたい気持ちになる。自ら死を選ぶ程の孤独や絶望から、どうしたら子どもたちを救い出すことができるだろうか。

孤独に閉ざされた若い日々を振り返ると、私にとっては音楽やスポーツも救いではあったが、魂の渇きが癒されるという意味では、読書こそ最良の方法であった。書物には、汲めども尽きせぬ人の生をめぐる知と情念の物語が横溢している。それは渇きを癒す命の泉であり、たった独りで何時でも豊穡な水を汲むことができた。

孤独の中においても、読書は他者との交流を可能にし、無数の人々の限りない知性と感性に触れることができる。その意味で、書物こそ世界理解の最良のツールでもある。

いま世界はパラダイム・チェンジのさ中にある。時代の地平を限る思考の枠組みが、根本的に変わらざるを得ない大変化の時代である。こうした変化をイメージして、故木村尚三郎学長は、セカンド・ルネサンスということばが使われた。木村先生の説かれた、五感を基にする感性の復権のためには、ルネサンス同様「人文知」が不可欠である。

万巻の書を繙き知を学ぶ上で、又と無い手引書がある。私たちの世代にとっては、三木清「読書と人生」、桑原武夫「文学入門」、加藤周一「読書術」が親しいが、これらは入門書の域を遙かに超える不朽の名著で今なお新しい。現在では、立花隆「ぼくはこんな本を読んできた」位のものかも知れない。最近の新刊では、大江健三郎『「伝える言葉」プラス』には心打たれた。そのなかの「晩年の読書のために」では、E・W・サイードと、わが敬愛する故高橋康也氏の「橋がかり - 演劇的なものを求めて」が取り上げられている。

実は私自身読書案内や書評を書いていた時期がある。勤務していた都庁関連の都政紙・庁内紙を中心に、総合雑誌にも執筆した。80年代半ばに遡るが、中央公論編集長を長く務めた粕谷一希氏の「都会のアングル」の書評を都政新報紙に書いたところ、著者ご本人から懇篤な礼状が届いた。そこには「親しい旧友に再会したような文章に接し…」と書かれていた。そのことが直接の機縁ではなかったが、当時中央公論編集部にいた高校の後輩の知る所となり、その後一年余り書評欄の一角を汚す仕儀となったのである。取り上げた新刊書のジャンルは広いが、陣内秀信「東京の空間人類学」、岩井克人「ベニスの商人の資本論」、香原志勢「顔の本」など、いずれも人文知に溢れた力作であった。

最後に、読書の賜物である敬愛する文学者たちとの、幸せな邂逅に触れておきたい。

今年から藤枝市で新しい市民の文化活動拠点をどう創っていくかという検討会議が始められ、その委員長を仰せつかっているが、藤枝といえば藤枝静男、小川国夫という戦後文学史にその名を刻する輝かしい文学者を輩出している土地柄である。先日はその藤枝で小川国夫氏と共に、三田誠広氏とも親しくお目にかかる機会を持つことができた。三田氏は浜名湖の近くに仕事場を持っておられるという。

1964年に大学に進んだ私にとって、ちょうどその頃盛んに創作活動を始められた小川氏の作品はどれも馴染み深く、また私が大学2年の時「文芸」の学生小説コンクールでデビューした当時弱冠17歳の三田氏の印象も鮮烈であった。彼はコンクール受賞後11年を経て「僕って何?」で芥川賞を受賞された。小川氏の作品では、「青銅時代」がとりわけ忘れ難いが、それは凄惨な暴力の場面が描かれているせいである。若いカップルが二人のならず者に襲われるその描写が、作者の実体験にでたものであるかどうか、長年気がかりだった点を尋ねてみると、「あれは創作です」と仰っておられた。

昨今は読書離れ、活字離れが取沙汰されるが、これは何事も効率的に進めようとする姿勢 言わば思考の合理化と表裏一体なのではないか。思索抜きに既成の情報に安易に頼る傾向。ちなみに「偏見」とは、思考の合理化の過程の産物だとする説もある。もしそうであるとすると、これからさらに、幼い偏見を根本原因とするいじめが増殖されていく社会であることは目に見えている。

学生諸君には特に、目先の名利ではなく、真の知を求める読書家であって欲しい。

(写真は向かって右から小川国夫氏、筆者、三田誠広氏)

## 〈シリーズ〉 図書館・情報センターを使いこなそう！

9月に図書館システムを更新しました。新しくなったOPAC機能をご紹介します。

### 新型OPACから：NACSIS目録横断検索編

#### OPAC (Online Public Access Catalogue) とは

コンピュータで検索する図書館の蔵書目録データベースです。本学では貴重書の一部を除き、すべてOPACでの蔵書検索が可能になっています。

#### NACSIS目録 (National Center of Science Information System Catalogue) とは

国立情報学研究所 (NII) が提供する目録・所在情報サービスの略称で、オンライン共同分担目録方式により全国規模の総合目録データベース( 図書/雑誌 )を形成するためのシステムです。  
NACSIS Webcat ともいいます。

#### 新機能の紹介NACSIS目録との横断検索

OPACの更新に伴い、本学の蔵書だけでなく、NACSIS目録も検索できるようになりました。このことにより、本学未所蔵資料の検索語を入れ直すことなく全国の約860万冊の図書、29万種の雑誌データが検索でき、幅広い情報収集が可能となりました。

更新によるOPAC機能の変更点は下記のとおりです。

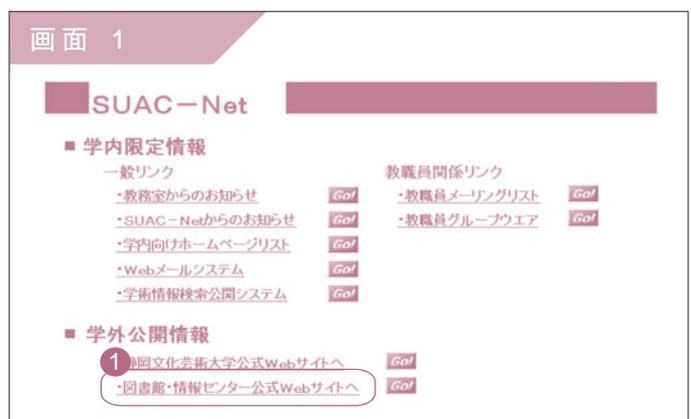
機能	旧OPAC	新OPAC	備考
検索範囲	自館のみ	本学と全国大学等図書館( NACSIS加盟館 )の蔵書を横断検索できる	
ブックマーク機能	印刷のみ	ブックマークの印刷、メール送信、ダウンロードができる	転送・ダウンロードはマイライブラリ にログイン後可能
利用状況の確認	不可	貸出状況、返却日、予約状況の確認ができる	マイライブラリにログイン後可能
貸出図書への予約	不可	検索結果から予約可能。 取り消しもオンラインでできる	マイライブラリにログイン後可能
新着図書のお知らせ	不可	条件に該当する資料が表示される	マイライブラリにログイン後可能( 事前に条件の設定が必要 )

マイライブラリの詳細については次号で紹介いたします。

横断検索機能を使って高松塚古墳の壁画に関する資料を検索してみましょう。

#### 内向HP( SUAC-Net )トップページ

- 1 新OPACへは「内向HP」「図書館・情報センター公式webサイト」をクリックします。



#### 図書館・情報センタートップページ

- 2 SUAC蔵書検索をクリックします。(画面3へ進みます)
- 3 検索窓にキーワードを入力することによって直接検索もできます。(画面4へ進みます)



## 〈シリーズ〉 図書館・情報センターを使いこなそう！

### OPACトップ画面

- 4 検索のポイントを参考にし、「高松塚古墳」と「壁画」の間にスペースを入れ、図書・雑誌の中からAND検索(“すべてを含む”)を行います。
- キーワード欄に検索値を入力しておけば、NACSIS目録検索に切り替えるときに入力の手間が省け、便利です。

### 画面 3

#### 静岡文化芸術大学図書館・情報センター

検索条件入力

検索結果一覧

検索 キーワード

資料の種類 :  図書  雑誌  雑誌巻号  視聴覚

対象データベース :  本学所蔵  NACSIS目録

キーワード : 高松塚古墳 壁画 すべてを含む

タイトル : すべてを含む

編著者名 : すべてを含む

件名 : すべてを含む

出版社 :

出版年 :  から

和洋区分 :  全て

### 検索のポイント

検索対象が「図書」のみの場合は「雑誌」「雑誌巻号」「視聴覚」のチェックを外すと余計なものが検索されません。

キーワードに検索キーを入れて検索すると、「タイトル」「編著者名」「件名」も同時に検索して幅広い結果が得られます。

入力されたキーワードに対して“すべてを含む”(AND検索) “いずれかを含む”(OR検索) “いずれも含まない”(NOT検索)が選択できます。

複合語などの単語は分割すると効果的に検索できます。

例: 環境汚染 環境 汚染( はスペース)

“/”(スラッシュ)を用いることにより検索キーの前方・後方・完全一致が指定できます。

例: /環境(「環境」で始まるものを検索。前方一致)

環境/(「環境」で終わるものを検索。後方一致)

/環境( 完全一致)

著者名などで正確な漢字がわからないときは、ひらがな(ヨミ)を入力すると確実に検索できます。

### 画面 4

検索結果一覧

検索条件入力 > 検索結果一覧

5 図書:5件 雑誌:0件

資料の種類 : 図書, 雑誌

対象データベース : 本学所蔵

6 キーワード : 高松塚古墳 壁画 [すべてを含む]

条件の見直し

図書 : 1-5 (5件) [続きを見る](#)

- [飛鳥高松塚古墳](#)  
末永雅雄編, 学生社, 1972.  
1階閲覧書架 210.33/Su 18
- [国宝高松塚古墳壁画](#)  
文化庁監修, 中央公論美術出版, 2004.  
2階大型図書 210.34/B 89, 研究室 210.34/B 89
- [高松塚壁画古墳: 朝日シンポジウム](#)  
末永雅雄, 井上光貞編, 朝日新聞社, 1972.  
1階閲覧書架 210.33/Ta 42
- [高松塚壁画古墳: シンポジウム](#)  
末永雅雄編, 創元社, 1972 (創元古代史選書: 1).  
1階閲覧書架 210.33/Sh 69
- [壁画古墳の謎: 日本古代史の原点を探る](#)  
上田正昭(ほか)著, 講談社, 1972.  
1階閲覧書架 210.33/H 53

### 検索結果一覧

- 5 本学の蔵書からは図書が5件ヒットしました。
- 6 ここでは、より多くの資料を検索するため検索対象をNACSIS目録に切り替えてみましょう。

### 検索対象選択画面

- 7 対象データベースを「NACSIS目録」に切り替えて検索します。
- 8 検索キーがキーワード欄に入力されていることを確認してください。
- 9 検索をクリック

画面 5

検索結果一覧

検索 キーワード

資料の種類 :  図書  雑誌  雑誌巻号  視聴覚

対象データベース :  本学所蔵  NACSIS目録

キーワード : 高松塚古墳 壁画

タイトル :

## 〈シリーズ〉 図書館・情報センターを使いこなそう！

### 検索結果一覧( NACSIS目録 )

- 10 17件ヒットしました。
- 11 この中から5番目の資料の詳細を見てみましょう。

画面 6

検索結果一覧 (NACSIS目録)

検索条件入力 > 検索結果一覧

10 17件ヒットしました。 雑誌: 0件

資料の種類 : 図書, 雑誌  
対象データベース : NACSIS目録  
キーワード : 高松塚古墳 壁画 [すべてを含む]

条件の見直し

図書: 1-17 (17件) 雑誌を見る

- 高松塚古墳壁画調査報告書 / 高松塚古墳総合学術調査会編. 高松塚古墳総合学術調査会, 1973.3.
- 国宝飛鳥高松塚・壁画古墳 / 奈良県高市郡明日香村編集. 明日香村, [19-].
- 国宝高松塚古墳壁画 / 文化庁監修. 中央公論美術出版, 2004.6.
- キトラ古墳高松塚の壁画の系譜 : 天文画像を中心として = Lineage of the mural of the tomb Ki-to-ra & Ta-ka-ma-tsu. A study on the ancient astronomical images / 成家徹郎著. 大東文化大学人文科学研究所, 2004.3.
- 11 高松塚古墳の調査 : 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討のための平成16年度発掘調査報告 / 文化財研究所奈良文化財研究所編集. 文化財研究所奈良文化財研究所, 2006.3.

### 書誌詳細画面

- 12 全国の機関で42件所蔵していることがわかります。
- 13 他機関の所蔵状況を見るときはここをクリックしてください。

画面 7

検索結果詳細: 図書 (NACSIS目録)

高松塚古墳の調査 : 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討のための平成16年度発掘調査報告 / 文化財研究所奈良文化財研究所編集. タカマツスカブアン / チョウサ / コウホウ タカマツスカブアン / ヘキガ コウキョウ ノボリ タイサクツクワ / ノボリ / ヘイセイ / 16 / シンブ / パツクツクワ / チョウサ / ホウコク / 奈良 / 文化財研究所奈良文化財研究所, 2006.3.

◆ 刊年 : 2006  
◆ 形態 : 62p, 図版16p, 挿図, 地図, 30cm  
◆ 注記 : タイトルは奥付による  
挿図42図1枚  
◆ 出版国 : 日本  
◆ 標記言語 : 日本語 (jpn)  
◆ 本文言語 : 日本語 (jpn)  
◆ 分類 : NDC8 210.2  
NDC9 210.34  
◆ 著者情報 : 文化財研究所奈良文化財研究所 (フナガザイケンキョウジョナラ / フナガザイケンキョウジョ)  
◆ 件名 : 高松塚古墳  
古墳

12 JNCD : BA77801640  
13 ◆ 所蔵 42件  
Webで他機関の所蔵を見る

画面 8

所蔵図書館 42

豊大 図 216.5||N51 06004611  
推大 図 210.34||BU 11784794  
国大 附属図 F210.3/T 016000366462  
宇野院 図 210.07/2120 0100936945  
関西院大 上ヶ原 913.5:95 0004102026  
関大 図 210403063  
筑大 210.34||Tak  
京大 図 210.2||B 89 06102442  
京大 図 210.2/B89 1068002859  
京大 図 GB||1211||タ9 06029707  
京大 考古 A8||109 06030804  
京大 文 100050294  
九大 文 考古学/02.6 005112006520271  
経大 本館 210.34:Ta42 020610249  
広大中 210.2:B-89 0130518242  
弘大 本館 210.34||B89 07480917  
国学院 1060042270  
国語研 91N/Ta42 115966  
阪大 10501846975  
旭大 図 206802646  
三響大 210.02/Ta 42 50606370  
近大教 210.2||M||85 187201183  
龍大 210.34/Ta42 11106018090  
津大文 210-02-TAK 020200601044  
青空青山 000609459  
龍大 図 210.2/NARA/238 0006525497

### 他機関所蔵結果

所蔵機関の略称、請求記号等が表示されます。

このように、簡単な操作で学内 / 学外の資料を広範囲に検索できます。

学外の資料が必要なときは図書館カウンターで相互貸借の手続きを行ってください。

この時、検索結果を印刷したものを用意しておけば、手続きがスムーズに進みます。

相互貸借には実費が発生します。

借りたい本が文芸書・実用書の場合は公共図書館で所蔵している場合が多いため、「おうだんくん」を使って県内の公共図書館を検索しましょう。

相互貸借とは別に後援会希望図書として購入する場合があります。カウンターで相談してください。

## 知っていますか？ こんなサービス

### 図書館・情報センター新ホームページ

図書館・情報センターのホームページがリニューアルされました！  
シンプルな画面ですが、情報がたくさん詰まったホームページなので、どしどし利用してください！！

- 1 マイライブラリ機能も追加されました。(次号で紹介します)
- 2 トップページから直接蔵書検索が可能
- 3 オンラインデータベースの入り口はこちら(学内端末でのみ利用可)  
GeNi, MagazinePlus, 聞蔵, Japanknowledge, Web OYA-bunkoが利用できます。
- 4 「温故知新」バックナンバーや所蔵新聞一覧・特別資料等も追加しました。
- 5 論文・レポートに役立つ情報満載のリンク集はこちらからどうぞ。

静岡文化芸術大学 図書館・情報センター

1 館内案内図 | マイライブラリ

2 SUAC 蔵書検索

お知らせ

2006年09月29日 図書館・情報センターWebサイトを公開しました

2006年11月の閉館日

日	月	火	水	木	金	土	日	閉館時間
1	2	3	4					白 9時~20時
5	6	7	8	9	10	11		緑 9時~17時
12	13	14	15	16	17	18		黄 9時~12時
19	20	21	22	23	24	25		青 10時~16時
26	27	28	29	30				赤 閉館

年間カレンダーはこちら>

利用案内

図書館・情報センター利用案内  
学外の方へ  
館内案内図

蔵書検索

SUAC蔵書検索  
WebcatPlus(遠征検索)  
NDL-OPAC(国立国会図書館)  
おうだんくん(静岡県横断検索システム)

3 電子情報サービス

オンラインデータベース(学内限定)  
電子ブック  
電子ソフト一覧

4 広報・刊行物

図書館・情報センター概要  
図書館・情報センターだより「温故知新」  
本学刊行物

資料紹介

雑誌雑誌一覧  
所蔵新聞一覧  
各種文庫  
特別資料

5 学習・調査支援

学習・調査役立ちサイト